

# 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023010103  
事業名:山口県宇部市における  
「子ども第三の居場所」学習・  
生活支援モデルの運営  
(最終年度)

団体名:一般社団法人キッズラップ  
代表者名:代表理事 金子 淳子  
TEL:0836-39-0080  
事業完了日:2024年3月31日



## ■契約時

事業費総額	:	9,600,000 円
自己負担額	:	1,920,000 円
助成金額	:	7,680,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

## ■事業完了時

事業費総額	:	10,020,217 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	2,340,217 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	7,680,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

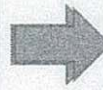
### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルの運営  
(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日  
(週4日、14時から19時まで開所)  
(2)場所:山口県宇部市新天町  
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に30名  
(4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。

#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

(1)期間:2023年4月1日~2024年3月31日  
(週5日、14時から19時まで開所)  
(2)場所:山口県宇部市新天町2丁目1-5  
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に30名  
(4)内容:「子ども第三の居場所」をつくり、子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完した。



#### (3)成功したこととその要因

当プログラムでは、「子ども第三の居場所」を提供し、1対1の関係を重視しながら子どもたちの成長を支援しています。その成果として、以下の点が挙げられます。

**生活習慣の改善:**

健康的な食事や運動習慣の啓発を通じて、参加者の生活習慣が見直されました。これにより、健康状態の向上や自己管理能力の向上が図られました。

**学習意欲の向上:**

興味関心に合わせた学習プログラムや体験型アクティビティを提供し、参加者の学習意欲が高まりました。特に、お仕事体験やロールモデルとの交流を通じて、将来の展望や希望、夢について具体的に考える機会が増えました。

**人間関係の向上:**

多くのロールモデルと交流することで、参加者は人間関係の大切さや他者への感謝の気持ちを学びました。これにより、人に対するやさしさや強さが生まれ、社会での協力や貢献意識が向上しました。

**支援の感謝と成長:**

プログラムへの参加を通じて、子どもたちは多くの方々からの支援を実感しました。この経験が、自己肯定感や自信の向上につながり、将来に対する前向きな姿勢を築く手助けとなりました。

**(4)失敗したこととその要因**

契約時に予定したとおりに事業を実施できなかった場合は、実施できなかった理由を記載してください。

**(5)事業内容詳細**

上記「(2)事業完了時の事業内容(実績)」の詳細について、ご記載ください。別途報告書を作成されている場合は、それを添付いただければ省略可能です。

**実施日時:**

月曜日から金曜日の主に放課後の時間帯に、居場所事業を実施。子どもひとり一人に対して、居場所にくる回数を増やしたりした。また、長期休みは、時間帯を早くから開始した。

**送迎サービス:**

学校や家庭から居場所までの送迎サービスを提供することで、自家用車を持たない家庭や交通機関の利用が難しい家庭に対しては、居場所から家庭までの送迎も実施した。

**地域連携:**

要保護児童対策地域協議会などへの参加を通じて、地域との連携を図り、必要に応じて個別に学校や行政とも連携し、子どもの最善の利益を追求した。また、地域の方々と交流することにより職場体験などを行うことができた。

**企業支援と体験学習:**

多くの企業の方々からの応援を受け、旅行を通じて多くの体験・経験を積むことができた。企業の協力により、子どもたちが多彩な活動や社会体験を通じて成長する機会を提供しています。

**個別支援:**

学習の遅れや不登校など、個々の子どものニーズに合わせて支援を行った。教育機関や行政との連携を通じて、継続的かつ効果的なサポートを実施した。

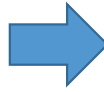
**居場所の役割:**

子どもたちにとっての安心できる居場所を提供することで、学習意欲の向上や社会参加意識の育成に努めています。家庭や学校と連携し、子どもたちが健やかに成長できる環境を整えた。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

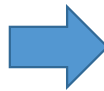
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4



(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

## 2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2021年8月1日までに「子ども第三の居場所」学習・生活支援モデルを開設する</li> <li>2 運営開始までに関係各所(自治体・学校・SSWなど)へ事業の説明会を実施する</li> <li>3 2022年度3月31日まで(8カ月間)に利用児童数を20名にする</li> <li>4 児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供を行う</li> <li>5 ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築を図る</li> <li>6 子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に月1回実施する</li> </ol>
--

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	613	文字数チェック	OK
<p>1の達成状況 開設済</p> <p>2の達成状況 関係各所(自治体・学校・SSWなど)へ事業の説明会を実施した。</p> <p>3の達成状況 利用児童は現在30名であり目標達成。</p> <p>4の達成状況 居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などを継続実施した。</p> <p>5の達成状況 ボランティアとして、元学校の教師が週に1~2回、子どもたちの学習をサポートしています。また、近隣の大学や高専の学生たちは週に1~5回、子どもたちの学習をサポートしたり、食事や遊びを共に楽しんでいきます。これにより、彼らは子どもたちにとって身近なロールモデルとなり、目標となっています。地域の住民も、近隣の鮮魚店や割烹寿司、レストランのオーナーなどと協力し、料理体験や職場体験などを通して子どもたちに貴重な経験を提供しています。行政とも定期的にミーティングを行い、情報共有を行っています。さらに、学校とも連携を取りながら、子どもたちの登校状況や学校生活の様子を客観的に把握し、情報を共有しています。これにより、子どもたちのサポートをより効果的に行った。</p> <p>6の達成状況 事業期間中に月1回、子どもたちの「経験の不足」を埋めるイベントを開催しています。これらのイベントでは、哲学者の先生と対話を通して考えを深めたり、スポーツ観戦やサーカス鑑賞、農業体験など多彩な</p>			

活動を行っていました。また、子ども食堂での配膳のお手伝いやキッズラップのお祭りブースを子どもたちだけで運営したことや、旅行を体験した。

### 3.事業実施によって得られた成果

多彩な体験を通じて、私たちは多様な考え方が存在することを理解し、他人の視点や感情を理解する力が向上しました。特に、ボランティア活動を通じて他の子どもたちの学びや経験をサポートすることで、自己肯定感が高まり、自分を認めることができるようになりました。この成長により、登校が難しいと感じていた子どもたちも学校に積極的に通うようになり、学習への意欲も高まりました。さらに、将来の仕事について具体的なイメージを持つようになりました。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

「子ども第三の居場所」プログラムは、生活習慣の改善や学習意欲の向上だけでなく、人間性の育成や社会への参加意識の形成にも成功しています。今後は、さらなるプログラムの充実や地域社会との連携強化を通じて、より多くの子どもたちに支援を提供し、社会全体の活性化を目標にさらに対応していきたい。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記してください。  
完了報告書

#### (2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。  
※チラシ、ポスター等の印刷物については作成枚数を追記いただけます。  
完了報告書



#### (3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ [https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra\\_gui\\_01-1.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf) (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。

<https://fields.canpan.info/report/detail/31092>